

平成27年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
吉備高原にお出かけ

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

自然自然観察会をとおり、吉備高原の魅力や自然の中で行う体験活動の素晴らしさを多くの人々に伝える機会とする。

2. 事業の概要

(1) 期日

第1回 7月18日（土） 日帰り 「ブッポウソウの観察」

第2回 8月 9日（日） 日帰り 「カブトムシをつかまえよう」

(2) 参加者

① 募集対象・人数

小学生を含む家族・10家族

② 参加人数

第1回 14人（4家族）

第2回 28人（7家族）

(3) 会場

国立吉備青少年自然の家及び吉備中央町内

(4) 講師等

第1回 黒田 聖子 氏（「吉備高原」自然の会、日本野鳥の会岡山県支部）

第2回 木下 義久 氏（「吉備高原」自然の会）

(5) 企画・運営のポイント

① 年度計画を検討する際に、「吉備高原自然の会」のメンバーの専門性や興味に関連するテーマを選び、自然観察会を企画した。

② 3年目を迎えるに当たり、「吉備高原自然の会」のメンバーが主体となって自然観察会を実施できるように役割分担を行い、実践の場面を設けて指導の向上を図った。

3. 活動の内容等

(1) 日程

7月18日（土）		8月9日（日）	
8:45	受付	8:45	受付
9:00	開会式	9:00	開会式
9:40	移動（バス）	9:40	トラップ作り
10:00	ブッポウソウの観察	10:30	フィールドワーク
11:05	移動（バス）	11:55	閉会式
11:55	閉会式		

## (2) 活動の状況



【ブッポウソウの観察】



【ブッポウソウの観察】



【カブトムシをつかまえよう】



【カブトムシをつかまえよう】

## 4. 成果・課題

### (1) 満足度

満足：94% やや満足：6%

### (2) 参加者の声

- ① 体験することで、これまで気付かなかったことに目を向け、子どもたちの視野を広げることにつながったと思います。
- ② 親子で体験することができて良かったです。また野鳥の会の方々のおかげで、知りたいことや聞きたいことがすぐに教わることができて良かったです。

### (3) 成果

- ① 吉備高原自然の会のスタッフを中心に自然観察会の企画運営を実施したことで、各スタッフの専門性や得意分野を取り込みながら事業を展開することができた。
- ② 四平山は、スタッフが通常の活動で昆虫観察のフィールドとしていた場所であったことから、定期的な観察を実施することができた。

### (4) 今後の課題

- ① 事業の運営役割を分担する際、スタッフの専門分野や得意な分野で活躍できる場面を多く作り、今後の企画に自信を持って取り組めるように、支援していきたい。
- ② 今後、継続的に「吉備高原自然の会」が運営できるようにするためにも、会長を中心として会員自身が会の運営を担う必要がある。
- ③ 吉備高原の自然を生かして、町の鳥「ブッポウソウ」やカブトムシなどの野生生物の観察に適した日程に設定する必要がある。

担当：企画指導専門職 徳永 正樹